



ない。一緒に努力しよう」と訴えた(写真)。

和をつくり出す宗教者ネット」など4団体が7日、東京都新宿区の公明党本部前で抗議し、反対を貫くよう求める山口那津男代表宛の要請書を提出した。

宗教者ネットのほか、「STOP大軍拡アクション」、「ふえみん婦人民主クラブ」、「STOP改憲・北区の会」が抗議行動を呼び掛け、参加者約20人が同党本部前で「公明党は戦闘機の輸出に反対しろ、墮落するな」と声を上げた。

公明党本部前で抗議 戦闘機輸出に反対を

日英伊3カ国が共同開発する次期戦闘機の第三国輸出解禁を巡り、慎重な姿勢を示していた公明党が態度を軟化させたことを受け、「平

原浩司氏が、与党の密室協議の中止なども合わせて求めた要望書を読み上げた。同党側は警備員一人が入り口に立つのみで取り合はず、要望書は受付窓口に提出するよう促された。

宗教者ネットの日本山妙法寺僧侶・武田隆雄氏は題目三唱した上で、「池田大作先生のみ教えに恥じないために、平和憲法を守つてほしい」と力を込め、「南無妙法蓮華經を唱える者は徹底して不殺生戒の教えを広めねばなら